ようかい合のきびしいけいこが続く。けいこを見るのも勉強、右から3人目、鶴嶺山（出羽海部屋）

土俵支える〝ふる

ねばり・根性の猛げいこ

ふるさとレポート

ながめるサクランボ

寒河江の農村青年が盆栽を大量生産

輸入解禁にアイデアで対抗

わが国のサクランボ生産量の八〇%を占める山形県はいま、アメリカ産サクランボの輸入解禁問題で揺れているが、農協の園芸専門担当下部組織の若い農業青年が、アイデアでアメリカ産に対抗しようと、サクランボの盆栽を大量生産し、注目を集めている。盆栽ブームを見込んで、観賞用として売り出そうというもの。

この青年は「盆栽一式一万円」、「サクランボづくりがメシより

受験生らに
学内を公開
大宮城教育大